

# 世界に翔け！

生徒部・部活動係通信No.30

## 部活動再表彰ならびに全国大会壮行会

部活動再表彰					
No.	部活動	年	組	氏名	登壇内容
1	水泳	3	5	今井月	国民体育大会水泳競技【少年A】200m平泳ぎ：優勝 100m自由形：第2位・400mメドレー：第3位・400mフリースタイル：第4位
2				瀬崎勇宇	国民体育大会水泳競技【少年A】400mメドレー：優勝
3				関根滯央	国民体育大会水泳競技【少年A】400mメドレー：第3位
4				伊與田萌々	
5				今井美祈	
6				竹内愛貴	国民体育大会水泳競技【少年A】400mフリースタイル：第4位
7		2	5	土井香凜	国民体育大会水泳競技【少年A】50m自由形：第4位
8				東みずき	国民体育大会水泳競技【少年A】400m個人メドレー：第6位
9		3	5	岡島大志	国民体育大会水泳競技【少年A】400mメドレー：第7位
10				笠島大雅	
11		1	5	池田りんか	国民体育大会水泳競技【少年B】100m平泳ぎ：第3位
12				畑田真奈穂	国民体育大会水泳競技【少年B】400mメドレー：第5位
13				神偉雄	国民体育大会水泳競技【少年B】200m個人メドレー：第4位
14	陸上	3	9	伊奈颯太	U20日本陸上競技選手権大会400mH：優勝
15		2	10	菅野圭柊	愛知県高校新人体育大会400mH：第5位
16			2	山本瑞樹	愛知県高校新人体育大会棒高跳：第5位
17	茶華道	2	2	藤井萌恵	池坊花の甲子園2018東海地区大会（個人）：第3位
18		3	伊藤璃音	池坊花の甲子園2018東海地区大会（団体）：第4位	
19	女子サッカー	3	10	鈴木双葉	全日本高校女子サッカー選手権大会愛知県予選：第2位
20				持留史奈	全日本高校女子サッカー選手権大会愛知県予選：フェアプレー賞
21	剣道	2	2	柴田耕作	愛知県高校新人体育大会（個人）：第2位
22	女子バドミントン	2	9	奥山寧々	愛知県高校新人体育大会（団体）：第3位
23				中根緋月	愛知県高校新人体育大会（個人）：第3位
24	女子バレーボール	3	10	富安海羽	全日本女子バレーボール高等学校選手権大会東三河支部予選：優勝

### 全国大会壮行会

No.	部活動	年	組	氏名	No.	年	組	氏名	登壇内容
1	ダンス	2	3	岡山奈央	6	1	3	北川結惟	第10回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 HIPHOP女子部門Small編成：出場
2			7	伊藤明	7		伊藤凜		
3			8	深田恵歌	8		7	澁谷しずく	
4				横山美優	9		林美杏		
5		1	3	五十嵐心彩姫	10	8	浅野晏理		

### 全国大会展望

学園祭をラストステージに今まで部を牽引して来た3年生が引退。新チームで臨んだダンスドリル秋季競技大会（東海大会）で飛躍を遂げた。HIPHOP女子部門Small編成で見事優勝を成し遂げたのである。昨年に続いての、全国大会出場切符獲得となったが、年々ダンスの表現力やクオリティは上昇。今年度は全国大会優勝が目標だ。1年生が多い若いチームだが、その分怖いもの知らず。勢いに乗り、全国の舞台でも思い切り楽しんで、全国優勝を狙う。

### 全国高校駅伝壮行会

No.	部活動	年	組	氏名	No.	年	組	氏名	登壇内容
1	男子駅伝	3	8	柏優吾	6	2	8	柳本匡哉	全国高等学校駅伝競走大会：出場 愛知県第1位
2			9	岩城亮介	7		10	鈴木竜太郎	
3				関口雄大	8		近田達矢		
4			11	大上颯麻	9		9	原田愛星	
5		山盛翔大		10	1	5	小林亮太		

### 全国大会展望

昨年度17位に終わったチームから、大幅にパワーUPしたチームで都大路に挑むことになる。前チームで都大路を経験した選手が5名残り、主力としてチームを牽引。愛知県大会では前年比約2分短縮の2時間5分49秒で優勝。このタイムは昨年度の全国9位に相当するタイムであり、今年度の全国入賞が現実味を帯びる。監督・松永も「全てが上手くいけば面白い！」と自信を覗かせる。選手からも目標は「優勝」と聞く。パワーUPしたチームが全国の強豪とどこまで勝負できるか。昨年の覇者・佐久長聖や古豪復活を期す仙台育英は強い。そこに喰らいつく豊川。そんな構図を期待したい。

11	女子駅伝	3	4	荻野実夕	15	2	10	野尻琴乃	全国高等学校駅伝競走大会：出場 愛知県第1位
12				浅田遥香	16			古川璃音	
13		2	5	深澤萌々	17	1	5	児玉綺亜羅	
14				水谷怜愛	18			8	

### 全国大会展望

愛知県大会では、粘り強さを見せた。3区継走まで2位。トップを走る光ヶ丘女子とは約50秒のタイム差があった。だが、4区を走る3年生・荻野実夕選手が意地の快走。20秒差まで詰め寄る。アンカー勝負に持ち込むことに成功した。最終区を走った1年生・永井美希選手も焦ることなく、着々とトップとの距離を詰め、最後の最後まで粘る走りを見せる。残り1キロ付近での大逆転。2年ぶりの都大路出場権獲得に至った。都大路でも、最後まで諦めない、着実に冷静な走りを見せ、笑顔でのゴールテープを期待したい。

## 再表彰該当部活動戦評

### 水泳

全国高校総体での勢いそのままに、11種目13名の選手が全国入賞以上の成績を収めた。特に、今井月選手の200m平泳ぎ、瀬崎勇宇選手の400mメドレー優勝は特筆すべき結果である。また、【少年B】でも次世代を担う池田りんか・畑田真奈穂選手が400mメドレーにて第5位入賞。来年、全国高校総体でのリベンジへ幸先の良いスタートを切った。

### 陸上

伊奈颯太選手が遂に、日本一を達成！U20日本選手権にて400mHへ出場。50秒78を叩き出し、今季高校生ランキング最高タイムでの優勝。一躍、東京五輪候補へと躍り出た。今後の活躍に益々期待が懸る。また、菅野圭柊選手・棒高跳の山本瑞樹選手は、愛知県新人大会で上位入賞を果たし、今後の全国出場を虎視眈々と狙う。

### 茶華道

「花の甲子園」では、会場で初めて花包みを開き、各人のテーマをアレンジした生け花を作成する。その後、プレゼンテーションを行い、テーマや作成の思いを伝え、評価を受ける。今年度は、そのプレゼンテーションが高評価を受け、第4位入賞を果たした。また、観客投票によって決定される個人賞では、藤井萌恵さんが第3位入賞。全国大会出場が決定した。

### 女子サッカー

全国覇者・藤枝順心や強豪・聖カピタニオ女子の壁は高く、全国出場はならなかった。だが、愛知県大会準優勝、東海大会ではフェアプレー賞を受賞。着実に成長の歩を進める女子サッカー部の今後の飛躍に期待せずにはいられない。

### 剣道

柴田耕作選手は、1回戦から強豪との対戦が続いた。延長にまで纏れ込む激闘を幾多も制し、愛知県大会準優勝を達成。6年ぶり創部以来2人目の快挙を成し遂げた。今後は、目標である全国高校総体出場を狙う。

### 女子バドミントン

「強打」の中根と「スピード」の奥山が組むエースペアがチームを牽引し、団体戦第3位入賞を果たした。チームは初心者も多く含んでおり、発展途上真っ只中。上限は未知数である。春はダークホースとして愛知県を席捲すべく、冬のトレーニングに臨む。

### 女子バレーボール

「春高バレー」は3年間の集大成である。その大会において、東三河を制覇。愛知県大会では準々決勝まで駒を進め、強豪・岡崎学園と対戦。互角以上の戦いを見せ、一時リードする展開も。惜敗こそしたものの、堂々の戦いであった。この悔しさは、意志を受け継ぐ後輩たちが必ず飛躍に繋げてくれるはずだ。